

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和3年 第3回定例会)

質問順位	10 10番議員 大山勝代	
質問事項1	終活を見据えた町民の身辺整理に町の支援を	
質問の要旨	<p>高齢化が進む中、自身の終活と共に、相続問題・家及び身辺の整理に手をこまねいている町民が多くなってきているのではないかと感じる。町がそれらの相談に総合的に対応する窓口を設けられないか。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	(1) 「マイエンディングノート」はどのような趣旨で作成されたのか	町長
	(2) このノートは高齢者家庭すべてに配布されているのか	町長
	(3) 相続等を考えるとき、行政書士や弁護士への直接の依頼は町民にとってハードルが高い。これまでそういう問題について、町への相談の事例はあるか	町長
	(4) プラチナ社会政策室や定住促進課は、広い意味での終活相談について今後どう関わっていくべきと考えるか	町長
	(5) 庁舎1階の無料職業紹介所のような町独自の総合的窓口設置は検討されないか	町長

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和3年 第3回定例会)

質問順位	10	10番議員	大山勝代
質問事項2	加齢性難聴者への補聴器購入の助成制度を設けよ		
質問の要旨	認知症予防対策として、高齢者の「聞こえ」の検査と補聴器購入の助成制度の早期実施を要望したい。		
具体的な質問 及び 質問の相手	(1)	今年3月議会での私の質問・要望に対して、その後町でどう検討されたか示せ	町長
	(2)	聴力検査を気軽に受けられる場はどこにあるか。また、「通いの場」などでの実施ができないか	町長
	(3)	加齢性難聴と認知症は、どのような相関関係にあると認識しているか	町長
	(4)	助成制度を設ける自治体が全国的に増えてきている。その実例を示せ	町長
	(5)	補聴器が高すぎて購入できないという高齢者が多い。高齢者の認知症予防対策のためにも助成制度を設ける考えはないか	町長